



当直連携基盤

Infrastructure for
On Call Cooperation
Co., Ltd.

24h・365日 質にこだわる往診代行

バディ往診[®]なら
カルテ転記不要

医療機関のみなさま

先生！今使っている往診代行の仕組み、もっとよくできるかもしれません。

カルテ転記の隠れたコスト・・・

年間50万円超
の事務コスト*

カルテ内容を
2重で入力する
精神的コスト

*患者300名の医療機関で標準的に発生するカルテ転記所要時間（月15時間）相当の医療事務者の人件費



バディ往診®なら、この2つのコストを **0** に出来ます

これらの作業を「**当たり前**」とお考えではありませんか？

対応前のカルテ転記

主治医やスタッフが、患者のカルテ情報を**専用システム**に転記する必要があります。

転記できる情報には限りがあるため、患者情報・重要事項や特別に申し送りしておきたいことなどを全て転記できるか**確認**が必要です。

・サービス利用開始時

対応が発生する**可能性のある全ての患者**について、カルテ情報を専用システムへ転記する手間が発生します。

・患者情報更新時

主治医が**新たにカルテを作成する度**に転記の手間が発生します。

往診代行 専用システム



専用システムを
確認して対応



当直医師（往診代行）

当直医師は専用システムの情報を確認して対応。
対応後は患者のカルテ情報を専用システムに記録。

転記

転記



事務スタッフ



事務スタッフ

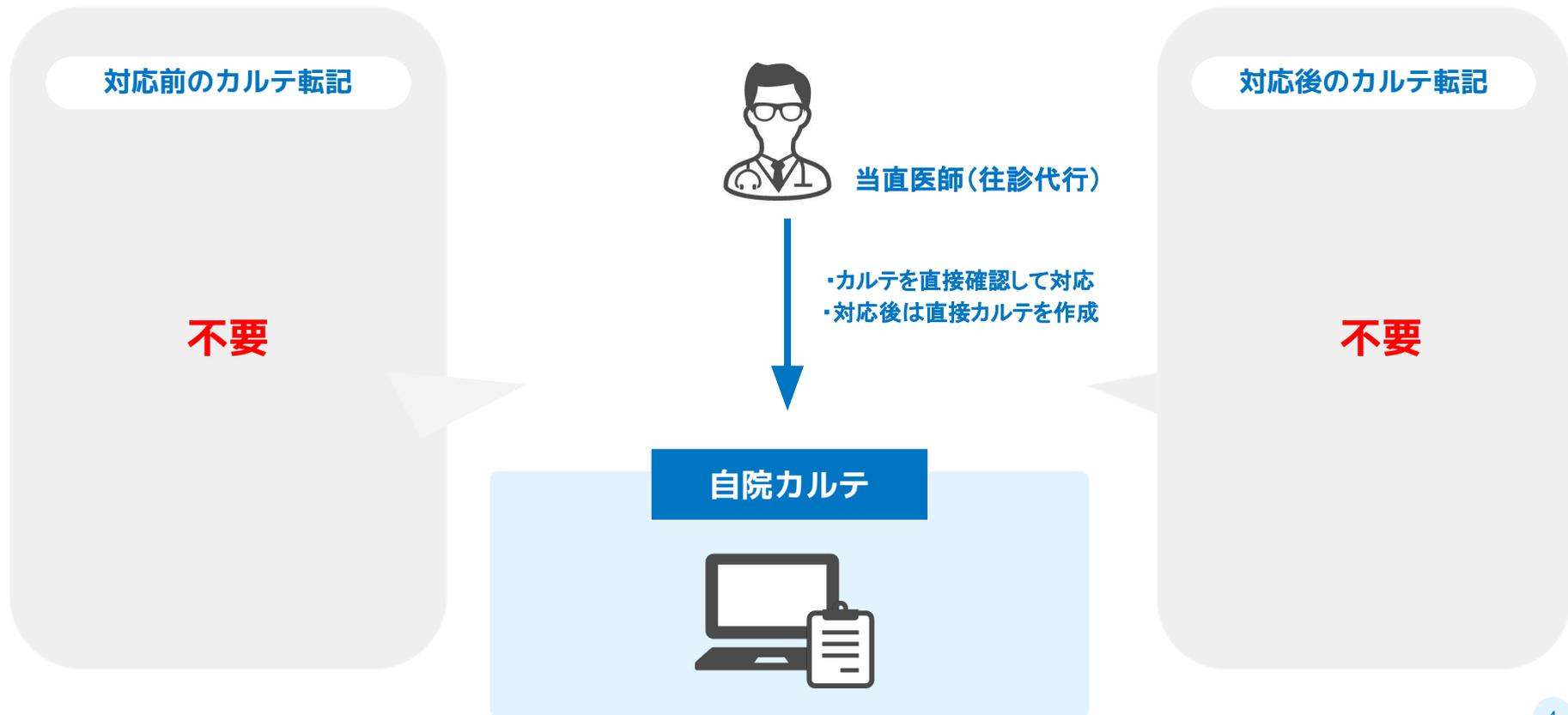
自院カルテ



対応後のカルテ転記

当直医師が記録した専用システムの情報を、自院カルテへ**毎回全て速やかに転記**する必要があります。

専用システムの情報のどの部分を、自院のカルテのどの項目に登録するか等、専用システムの情報を**解読・識別する作業**の負荷が発生します。



カルテ連携が可能なカルテ

別システムへのカルテ転記が不要

エムスリー
デジカル

HOMIS

モバカル

OWEL

※その他の電子カルテ、紙カルテをご利用されている場合でもご相談ください。

カルテ転記を行わないことで、**経済的コストや主治医・事務スタッフの負担を大幅に削減**できます。

継続的なカルテ転記作業は、事務負担・リスクともに大きいです。

対応が発生する可能性のある患者の
全ての対応を転記するため、負担が大きい。

慣れない専用システムで、転記漏れや転記ミスが
生じないかという心理的負担がある。

カルテ転記量が膨大で日々発生するので、
事務スタッフの手が取られてしまっている。



当直明けに全てのカルテを転記する作業が大変。

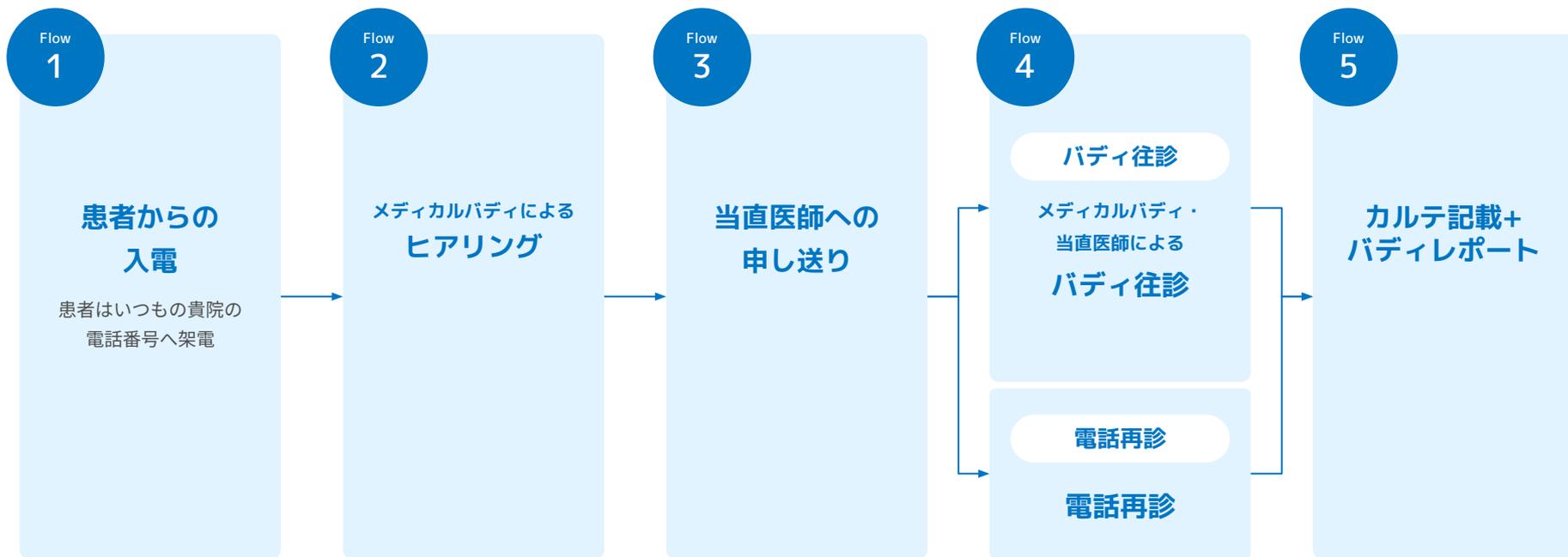
対応後に自院スタッフのカルテ転記ミスがあり
現場が混乱してしまった。

最新のカルテは転記不要といわれたが、
いつからのカルテが連携されているのかあいまいで、
トラブルが起きそうで不安を感じた。

もしも1つでも共感できる部分があるなら、バディ往診®でより良くできるかもしれません

サービスご提供の全体フロー

※ファーストコールプラン（入電1次受け／電話再診／往診：すべてを当直連携基盤が対応）のフロー



バディ往診の選ばれる理由

連携している電子カルテ
(カルテ転記不要)

4社

- ☑ エムスリーデジタル
- ☑ HOMIS
- ☑ モバカル
- ☑ OWEL

その他の電子カルテ、紙カルテをご利用の場合もご相談ください

医師の
対応品質担保状況

現場に同行した**メディカルバディによる評価に基づく**
スクリーニングを実施

バディ往診
(当直連携基盤)

医療訴訟

0件

2024年11月時点での当社実績

経済的負担

月額利用料以外の
持ち出しはナシ

実働に応じて別途実働料金
がかかります。実働料金は
当直医師の給与を含めて
も、診療報酬を超えた請求
はいたしません

レポート方法

医師のカルテ +
バディレポート

平均到着時間

59分

2024年4月-6月時点での当社実績

往診に向かう人数

医師と
メディカルバディの**2名チーム**

役割分担で、安定した質の高い対応を実現

医師会員基盤の盤石性

登録医師会員数33万人の
エムスリー株式会社と**資本業務提携**

診察数

111,370件

看取り数

9,430件

契約継続率

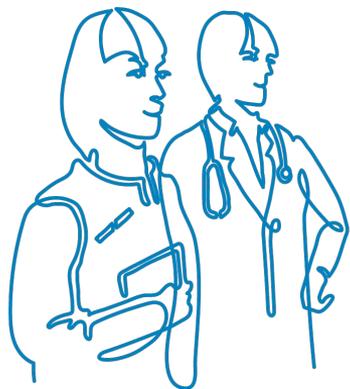
97.4%

他社乗換後の
出戻り率

47.6%

契約数

447件



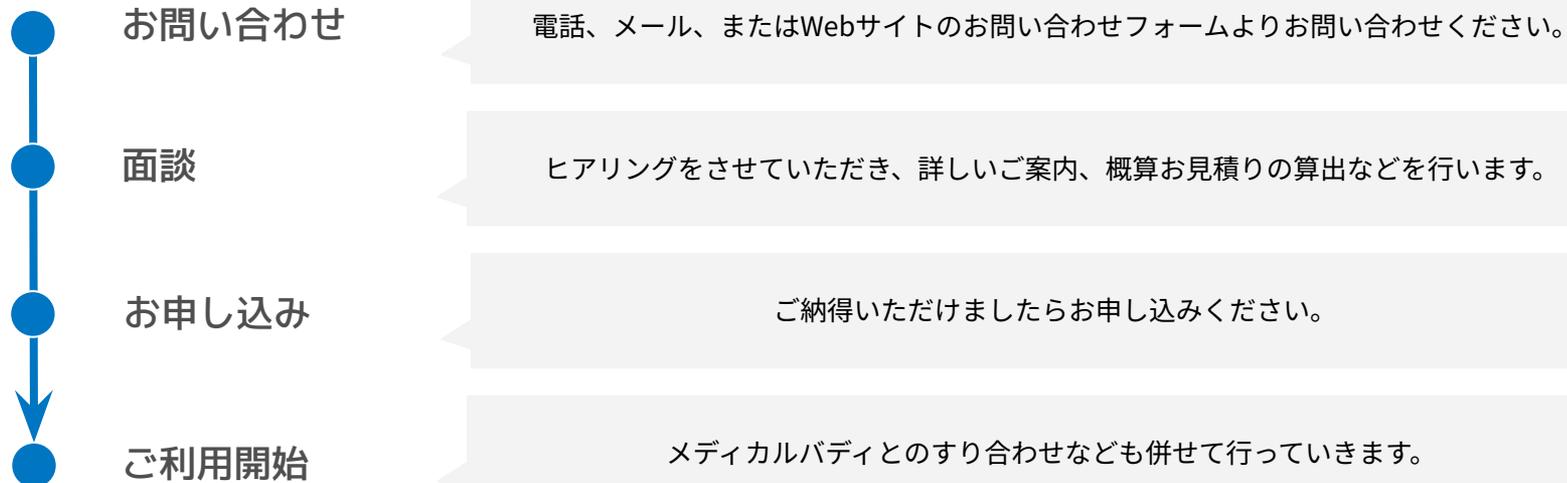
サービス開始年

2019年

2025年



具体的な導入までの流れ



お問い合わせから**最短2週間**でご利用を開始していただけます。

詳しい金額のご提示や詳細な説明も可能ですので、お気軽にご連絡下さい。



当直連携基盤

Infrastructure for
On Call Cooperation
Co., Ltd.

サービス提供エリアのご確認やお見積もり、
より詳しい情報をご希望の方は

Tel : **03-6666-9932**

(電話受付時間：平日9時～18時)

Mail : sales@tochoku.com

Web : <https://tochoku.com/>

その他プランのご紹介

コールセンタープラン

患者様からの入電をメディカルバディが受け、テキストで貴院へ申し送り。

こんな方におすすめ

- 往診対応は自院で行いたいですが、少しでもオンコールの負担を軽減したい。
- オンコール携帯に事務連絡や営業電話が入ってくるのが気になる。
- 日によって担当者が違うので、コールの割り振りが大変。

看取り支援プラン特養 (嘱託医の方向け)

特別養護老人ホームのお看取り対応のみご依頼頂けます。

こんな方におすすめ

- 近隣の特養から頼まれて嘱託医を引き受けている。
- 普段は良いが、学会や旅行・年末年始などで長期間不在にする際に困っている。

2024年4月1日より、株式会社当直連携基盤は エムスリー株式会社と資本業務提携を行い、 エムスリーグループの一員となりました。

エムスリー株式会社は、日本の医師の約9割以上にあたる33万人以上が登録する医療従事者専門サイト「m3.com」を運営し、製薬会社向けマーケティング支援サービスや治験支援サービスに加え、クリニックを対象とした医療現場DX化支援サービス等を提供しています。

クリニック向けDX化支援サービスにおいては、AI搭載クラウド電子カルテの「エムスリーデジタル」や、初回予約、自動受付、問診、キャッシュレス決済、次回予約の機能をワンストップ化し、患者の診療体験をより便利にする「デジスマ診療」等を提供し、診療プロセス全体の生産性向上に寄与するべく、DX化支援を推進しその範囲を拡大しており、医療機関に提供する付加価値の更なる拡張を図っています。

今後は、エムスリーグループが保有する国内医師会員基盤を活用することで、「バディ往診」の展開エリア拡大が容易になるだけでなく、医師の働き方改革を始めとしたあらゆる環境変化にも左右されない安定・高品質なサービス提供体制が構築可能となります。

さらにはエムスリーグループが保有するグローバルな医師会員基盤を活かし、日本で培った在宅医療ノウハウを世界に展開してまいります。

